



▶瀬戸染付工芸館 企画展

瀬戸・美濃—明治染付の共演

📍瀬戸染付工芸館
☎89・6001

瀬戸と美濃は、隣接するやきもの産地として、技術や人の交流が盛んであり、染付磁器に関しても互いに影響し合い、その技を発展させてきました。今回は明治時代に制作された瀬戸と美濃の染付磁器を展示し、その華やかで繊細な美を紹介します。

3 | 28(月) まで

場所/瀬戸染付工芸館 時間/午前10時～午後5時 入館料/無料

休館日/火曜 ※祝日の場合は翌平日



そめつけおひなさまあきくさず かびん 染付水梅秋草図花瓶
かわもとますきち 川本樹吉(瀬戸) 個人蔵
そめつけかちょうざろっかくかびん 染付花鳥図六角花瓶
かとうごすけ 加藤五輔(美濃) 個人蔵

まちかどスナッヅ

1月10日(日)
新成人、市長と語る

市役所で市長と新成人5人の懇談会がありました。

自己紹介で中村弥来さんは「成人式を終え、多くの方に支えられて育ってきたと実感しました。これからは成人として責任を持った行動をしなければならないと思いました。」と今後の抱負を語ってくれました。



その後、瀬戸の印象やこれからの瀬戸に必要なものについて市長と意見交換を行い、森丈祐さんは「市外の若者が普段から瀬戸に行きたくなるような施設があるとよい。」と提言しました。

市長は「若い人たちは瀬戸の一番の宝です。これからも瀬戸のまちづくりに力を貸して頂きたい。」と話されました。

◀左から 伊藤市長 なかむらしゅう 中村翔さん なかむらみつき 中村弥来さん ふくだしゅん 福田舜さん もりたけまさ 森丈祐さん よこやまともや 横山知哉さん



1月10日(日)
はしご乗りに歓声!

晴れ渡る青空のもと、パルティセと周辺で消防出初式が行われ、多くの家族連れで賑わいました。

式典の後、瀬戸川沿いでは效範小学校バトン部に続き、消防署、消防団の行進、消防団によるはしご乗り演技が披露され、観客から大きな拍手、歓声があがっていました。

はしご乗りの後、瀬戸川に向かって一斉放水が行われ、パレードを締めくくりました。



3月6日(日)まで
ノベルティでひな祭り

ノベルティ・こども創造館で、おひなさまを題材にし、職人さんと一緒に鑄込み、絵付けをするノベルティ体験や、白素地にやきもの用の上絵具で

絵付けをする上絵付け体験ができます。

オリジナルのおひなさまをつくることのできるこれらの体験は、こどもだけでなく大人にも好評です。

